

北部地域の鳥獣被害対策研修会を開催

【平成 30 年 12 月 27 日掲載】

県北部地域野生鳥獣対策広域協議会（市・JA・NOSAI 及び県機関で構成）は、12月14日（金）、みよしまちづくりセンターで、「鳥獣被害対策研修会」を開催し、三次市・庄原市から計147名の出席がありました。

研修会では、三次市甲奴町うが中山間集落協定の片山憲彦（かたやまのりひこ）さんから「モデル集落事業の取り組みについて」、三次市酒屋地区自治会連合会の箕田英紀（みのだひでき）さんから「行政に頼らない鳥獣被害対策」と題する事例発表がありました。鳥獣被害対策の勉強会を開いたり、柿などの剪定を学ぶとともに放任果樹は伐採する等、地域ぐるみの取組みを発表されました。

続いて、広島県鳥獣被害対策スペシャリスト井上雅央（いのうえまさてる）さんの講演「冬に頑張る鳥獣被害対策」があり、冬場は田畑に生える青草が動物の餌になること、電気柵等の管理は冬場こそ大切であること等「冬場の餌付け」対策について説明を受けました。



【講演の様子】

出席された会場の皆さんは、事例発表や講演に、熱心に耳を傾けていました。

広域協議会では、引き続き地域での鳥獣被害対策の取組みを支援していきます。



【事例発表の様子】